



有佐小だより

令和6年 3月 1日

第10号

文責 岩見 浩史

後期学校評価と県学力・学習状況調査の結果について

2月に教師・児童・保護者の三者で実施した学校評価と、12月に実施した熊本県学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

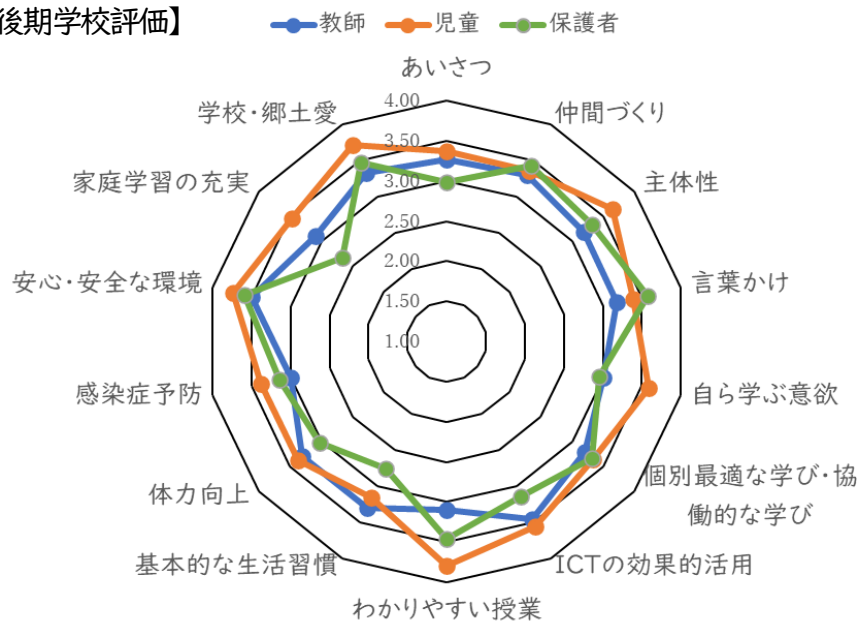
後期学校評価は、全体的に平均値が中央の「2.5」を超える項目が多く、高い評価でした。特に「安心・安全な環境」「学校・郷土愛」については、三者とも評価が高く、地域学校協働活動の成果であると感じます。ご協力いただいている皆様に感謝するとともに、子どもたちにも色々な方にお世話になっていることを意識させていきたいと思ひます。

特に保護者の評価が低かった「基本的な生活習慣」「家庭学習の充実」は、相互に関連が高い項目です。県学力・学習状況調査結果でも課題であることが分かります。今回は、子どもたち自身が基本的な生活習慣に課題があると感じているようです。今後も家庭と学校が連携して、子どもたちのメディアコントロールの力等を高めていくことが、重要な課題であると考えます。

今年度、学校として力を入れたのが「自ら学ぶ意欲」「伝え合う力」の育成でした。そのために「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に取り組み、授業や家庭学習の改善を進めてきました。しかし、調査結果を見ると、学年によって差はありますが、学習意欲や学習習慣にもまだまだ課題があることが分かります。

現在、調査結果をしっかりと受け止めて、各学年の課題や個人の課題の克服に向けて補充指導に取り組んでいるところです。先日、県学力・学習状況調査の個人票をお配りしましたので、各ご家庭でも個人内でよくできているところを認めるとともに、改善点や生活習慣などについて子どもたちとしっかり話し合い、具体的に目標を決めて早速改善に取り組んでいただきたいと思います。

【後期学校評価】



【県学力・学習状況調査質問紙】

